

花粉症で お困りの方へ

現在の日本の花粉症治療

今日本で行われている花粉症治療は、花粉症を完全に治すのではなく、薬で症状を軽くしたり、抑えたりする、いわゆる対処療法が中心です。以前は眠くなるなどの副作用があるとされてきましたが、最近では眠くなりにくい、より副作用の少ない薬の開発が進み、点鼻薬や点眼薬と組み合わせて、体質に合った薬を選び適切に使用すればかなりその症状を抑えられるようになりました。

一方「治す」方の治療法は、日本ではあまり行われていないのが現状です。これまで行われてきたのは、アレルギーの原因物質を注射する減感作療法という治療法です。しかしこの治療法は毎回注射を打たなければならず、しかもその治療が長期に及ぶため、日本ではほとんど行われなくなりました。その治療法に変わって近年欧米などで注目されるようになったのが、舌下減感作療法という治療法です。これは注射の代わりに治療薬を口に含むという治療法で、治療期間は同様に長くかかりますが、注射のような痛みもなく、副作用もより少ないとされています。しかし、日本ではまだ行える医療機関も少なく、その効果の実証も含めてまだ研究段階というのが現状です。

(裏面に続きます)

画期的な花粉症治療薬、ワクチンの開発が、横浜で行われているのをご存知でしょうか。鶴見区にある理化学研究所の免疫・アレルギー科学総合研究センターでは、花粉症やアトピー等のアレルギー性の病気の原因究明や治療法の開発が国の全面的な支援の下行われています。現在はまだ安全性を確かめる実験を始める準備をしているという段階で、実用化されるまでにはまだ時間がかかりますが、数年の内に良い知らせが横浜からもたらされるかもしれません。

花粉症対策の基本

花粉情報に注意しましょう。

花粉が飛ぶ時期は、洗濯物を外に干すのは避けましょう。

花粉の飛ぶ量が多い日は極力外出を避けて下さい。

外出する際は、マスクやメガネの着用がとても効果的です。

帽子やコートも効果的ですが、できればウール素材は避けて下さい。すべすべした綿やポリエステルなどの素材の方が、花粉が付着しづらいので効果的です。

帰ってきたら、衣服や帽子に付いた花粉をブラシなどで払い落としてから家に入って下さい。

家に入ったら、手や顔を洗い、うがいをして花粉を取り除きましょう。まめにお掃除をすることをお勧めします。

症状が酷くなる前に専門のお医者さんの診察を受けて、早めの予防、早めの治療を心がけましょう。

おこのぎ八郎さんを支援する会

横浜市神奈川区反町1 - 7 - 1

TEL: 045 (323) 6000 FAX: 045 (323) 2974

E - mail : g00833@shugiin.go.jp

<http://www.hachirou.com>